

山本左近 今に応え、 10の戦略 次世代を創る

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と呼ばれた時代から、まもなく半世紀が経とうとしています。戦後の復興を成し遂げ、世界の頂点に立った日本はいま、かつての勢いを失いつつあります。原因は一つではありません。しかし、「これまで通りでいい」と前例に頼り、変化を恐れる姿勢のままで、未来を切り拓くことはできません。

日本を、再び世界一の国へ。

私は今回、豊橋・田原の力を最大限に引き出し、地域の発展を日本の成長につなげるため「10の戦略」をまとめました。

1. 産業の革新と国際競争力の強化

自動運転・AI・半導体など先端技術の研究開発支援とサプライチェーン強化、地熱等の再エネ推進、国際標準化の主導、政府系ファンド創設で新財源を生み出します。豊橋技術大の強みを生かし、半導体を軸に研究開発・人材育成・産業集積を一体で進め、豊橋を先端技術の拠点にします。

2. 持続可能でもうかる農林水産業の実現

食料自給率37%の日本では、生産者の高齢化が進み、物価高で資材・燃料費が上昇しています。次世代へ承継するには「稼げる農業」への転換が不可欠。生産者への直接支援を拡充し、農地の集約・大規模化とスマート農業で生産性を高め、所得向上を実現します。

3. 地域の成長を支えるインフラ整備

浜松湖西豊橋道路や国道23号の4車線化、自転車道の整備、三河港のDX・GX対応、臨港道路の整備、通信インフラの拡充を進め、暮らしの安心と産業競争力を同時に高める投資を推進します。

4. 防災・国土強靱化の推進

南海トラフ地震を見据え、堤防・道路・橋梁の耐震化や避難所の環境整備を進めます。防災DXで避難情報を素早く届け、要配慮者支援や備蓄管理を強化し、誰一人取り残しません。

5. 安全保障戦略の推進

サイバー・宇宙も含め防衛力を強化します。日米同盟を軸に、自由と法の支配を共有する国々と連携し、グローバルサウスとも協力を深め、国民の命と暮らしを守ります。

6. 人口減少社会に対応した医療・介護・福祉改革

AIやフィジカルAI（ロボット）の活用を進め、人材不足に対応します。現場実装による変革は目前です。日本企業の出遅れを挽回するため、大胆な投資と官民一体の成長戦略を推進します。

7. 物価高に負けない安心の経済へ

物価高を上回る賃上げを実現します。中小企業の価格転嫁を徹底支援し、省力化投資・DX導入で生産性を高めます。あわせて自動車税制を見直し、家計と地域の負担を軽減します。

8. 外国人施策の適正化と共生社会の実現

出入国管理と土地取得規制を徹底・強化します。私自身、外国人として海外で暮らした経験から、日本語・文化や習慣の教育の重要性を実感しています。共生を進めつつ、違法行為には厳正に対応します。

9. 子育て・教育・文化の支援と人材育成強化

ブッシュ型子育て支援の推進、デジタル・AIで「書かない窓口」を広げ、手続き負担を軽減します。スポーツと文化・コンテンツ産業を後押しし、STEAM教育で高度人材を育成します。

10. 憲法に責任を、政治に信頼を

緊急事態条項の創設や自衛隊明記など、憲法改正の早期実現に取り組みます。「政治とカネ」の問題に決着をつけ、不記載や説明不足を許さず、政治資金の透明化を徹底し、政治への信頼を回復します。

挑戦を恐れず、未来を切り拓く。真に「日本を再び世界一の国」にするために。

覚悟こそ、変える力。

山本左近

前衆議院議員

《やまもと・さこん》
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、半身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

いまの政治に、希望を感じられていますか。
物価高、将来不安、地域の衰退、多くの方が「このままでいいのか」と感じています。

私は、この国をもう一度「挑戦できる日本」に取り戻したい。
その実現に向けた具体的な行動指針が、次の10の戦略です。



JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ